

先進地視察報告書

会派開明行政視察

令和7年8月18日(月)

視察先
及び
視察事項

厚生労働省

医療提供体制について

医療提供体制について

概要

- ・松本構想区域について
- ・再編統合の事例について
- ・新たな地域医療構想について
- ・地域医療構想について

厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室 阪田 昌弘室長補佐と厚生労働省医政局地域医療計画課 佐藤 剛主査から説明を受けた

所感

国立社会保障・人口問題研究所の2023年の推計による「日本の地域別将来推計人口」ではこの松本医療圏は2020年に比べ2040年は約10%減となり生産年齢人口は減少する一方後期高齢者は年々増加することが推計されている。現在の地域医療構想2025では構想区域における将来の病床数の必要量、地域医療構想の達成に向けた病床の機能分化・連携の推進に関する取り組み、病床機能の情報提供の推進が主に記載されているが現在検討の進む新たな地域医療構想2040では地域の医療提供体制全体の将来ビジョン・方向性、構想区域における将来の医療機関機能の確保のあり方、地域医療構想の達成に向けた医療機関の機能分化・連携の推進に関する取組、医療機関機能の情報提供の推進が新たに地域で検討し記載事項となることが想定される。全国各地の多くの病院は赤字経営となっており病院が潰れる時代との報道を耳にすることがある。松本医療圏は他の地域に比べ病院数も多く医療提供体制が充実していると言われるが人口減少社会において今後全ての病院が健全経営できるのか大いに疑問を感じる。現在計画の進む松本市立病院は計画にある診療科が本当に必要なのか、病床機能・病床数は適正なのかを「新たな医療構想2040」との整合性を図る必要があると考える。

令和7年8月20日

松本市議会議長 阿部 功祐様

川久保 文良